

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 5

三一の神を命の霊の法則として、わたしたちの三部分から成る存在の中へと分与することは、彼の義にしたがっており、彼の聖を通してであり、彼の栄光へと至るため、すなわち、わたしたちが新エルサレムとなるためである

聖書：ローマ8:2, 6, 10-11, 16, 31-39

- I. 三一の神は、肉体と成ること、十字架、復活、昇天の手順を経過し、命の霊の法則となって、わたしたちの霊の中に、「科学的な」法則として設置されました。命の霊の法則は、神聖な命の自然な力であり、自動的な原則です——I コリント15:45後半。ローマ8:2. ペリピ2:13. エゼキエル36:26-27. ヘブル12:1-2. ペリピ4:5-7, 12-13. コロサイ1:28-29 :
- A. クリスマン生活全体のかぎとなる点とは、すべてを含む、命を与える、命の霊の法則としてのキリストが、わたしたちの霊の中で生きることです。彼はその霊として、ご自身をわたしたちの霊とミングリングし、この二つ霊を一にします——ローマ8:2, 16. I コリント6:17。
 - B. わたしたちのミングリングされた霊の中には何の問題もないので、問題を解決する必要もありません。わたしたちが必要とするものは何であれ、わたしたちの霊の中にあります——ローマ1:9. 8:4. ヨハネ3:6. I ヨハネ5:4. 3:9. ヨハネ14:30。
 - C. わたしたちは自分の弱さ、欠点、失敗、自己のあらゆる事について忘れ、思いを霊に付け、常にわたしたちの霊に注意を払い、わたしたちの霊を用い、わたしたちの霊を顧みることによって、霊の中にとどまる必要があります——ローマ8:6. ユダ19-21。
 - D. わたしたちはさらに多くの時間を主の臨在の中で費やすために、祈ることによって、霊の中で燃えて喜んでいるとき、神を享受し、命の中で王として支配し、命の新しさの中を歩き、霊の新しさの中で仕えます——ローマ12:11. 5:10-11, 17. 6:4. 7:6。
 - E. たとえわたしたちの環境や境遇があわれなものであっても、わたしたち自身は霊の中で喜んでおり、神の王国の実際の中に生きることができます——14:17. 参照、ダニエル3:19-20, 25. 使徒16:23-25. エペソ4:1。
 - F. わたしたちがひたすらイエスを見つめて主との触れ合いの中にとどまる（彼との接触の中にとどまって、彼の御顔の表情の中に浴し、彼の美しさで浸透され、彼の卓越性を輝かし出す）とき、命の霊の法則は自動的に、自然に、何の努力も必要とせず働き、神の永遠のエコノミーが成就されます——ヘブル12:1-2. イザヤ40:28-31. 詩歌56番6節. ヨハネ5:39-40. 6:63. 参照、使徒7:2. 創12:1-3, 7-8. 13:14-17. 15:1-7。
 - G. 手順を経た、究極的に完成された三一の神が、命の霊の法則の自然な力として、わ

わたしたちの内側で以下の事柄を成し遂げるのは、わたしたちがキリストの愛に迫られ、制限され、動機づけられて、わたしたちのあらゆる患難と災いの中で彼を愛し、勝ち得て余りがあるようになった時です——ローマ8:31-39. II コリント5:14-15 :

1. この力はわたしたちの心を神へと傾けさせます——箴21:1. 詩119:36。
2. この力はわたしたちを神へと服従させます——ピリピ2:13。
3. この力はわたしたちに、神がわたしたちのために定めた良い働きを行なわせます。それは、わたしたちが召会生活をし、イエスを証しするためです——エペソ2:10. マタイ5:14-16. 参照、ルカ6:43-45. ガラテヤ5:22-26。
4. この力はわたしたちに、わたしたちの心と力を尽くして主のために労苦させます——I コリント15:10. コロサイ1:28-29。
5. この力はわたしたちの奉仕を、生きた新鮮なものにします——ローマ6:4. 7:6. II コリント3:6。

II. 神の永遠のエコノミーとは、ご自身を命の霊の法則として人の中へと分与して、義、聖、栄光という彼の神聖な属性が人の人性の美德となり、神の団体の表現、すなわち地方召会におけるキリストのからだの実際となって、義、聖、栄光の都としての新エルサレムを究極的に完成するということです——創2:9. ヨハネ10:10後半. 14:6前半.

I コリント15:45後半. ローマ8:2. II ペテロ3:13. イザヤ1:26. 啓21:2, 9-11 :

- A. キリストは十字架上で死んで、神の義、聖、栄光の要求を満たし、復活させられて命の木の実際としての命の霊の法則、命を分与する霊と成り、わたしたちの義、聖別、栄光となります——創3:24. I コリント15:45後半. 1:30. エペソ5:25-27。
- B. 三一の神の命は命の霊の法則として、わたしたちの三部分から成る存在の中へと分与されて、わたしたちを命の人とならせ、神の子たち、またキリストの肢体とし、キリストのからだを構成して、彼の表現とならせ、こうして神の当初の意図を成就します——創2:7, 9. ローマ8:14. 12:5 :
1. 「命 [ギリシャ語、ゾーエ] の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、わたしを解放した」——8:2。
 2. 「キリストがあなたがたの中におられるなら、体は罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに命 [ギリシャ語、ゾーエ] です」——10節。
 3. 「霊に付けた思いは命 [ギリシャ語、ゾーエ] と平安です」——6節。
 4. 「イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命 [ギリシャ語、ゾーエ] を与えてくださいます」——11節。
- C. 神の御座の周りがある虹の三つの主要な色は、青色（サファイアの御座の色で、神の義を表徴する——エゼキエル1:26. 詩89:14）、赤色（聖別する火の色で、神の聖を表徴する——エゼキエル1:4, 13, 27. ヘブル12:29）、黄色（輝くこはく金の色で、神の栄光を表徴する——エゼキエル1:4, 27. ヘブル1:3）です :
1. 神の御座の周りの虹が表徴しているのは、神が契約を結ぶ神、信実な神であって、彼が裁きを地に対して執行しているとき、彼の新しい契約を守って、命の霊の法則、命の新しさである彼ご自身を彼の選ばれた人たちの中へと分け与えて、彼ら

を新エルサレムとならせるということです——創9:13. 啓4:3. 21:2. ローマ6:4. エゼキエル1:26-28. 36:26-27。

2. この虹の霊的な実際は、今日の召会において現されるべきです。わたしたちは、神に完全な機会を与えて聖別する火としてわたしたちの中で働いていただくことによって、神に彼の義なる臨在をもってわたしたちを満たしていただく必要があり、団体のキリストとしてのわたしたちの組み合わせを通して、彼の栄光に輝く表現となる必要があります——1:5-14, 26-28。

3. 義、聖、栄光の虹によって表徴されているキリストご自身は、神が彼の民に与えた契約であり、彼らを「キリスト化」します。すなわち、彼らを神格においてではなく、命、性質、表現において彼であるのと全く同じにします——イザヤ42:6. ヘブル8:10-12。

D. キリストは神からわたしたちに与えられた知恵であり、ご自身をわたしたちの中に、義（わたしたちが霊の中で再び生まれるため）、聖別（わたしたちが魂の中で造り変えられるため）、贖い（わたしたちが体において栄光化されるため）として伝達しています——I コリント1:30. ローマ8:10. 12:2. 8:23. ペリピ3:21。

E. キリストを神の多種多様な知恵としてわたしたちの存在の中に伝達することは、わたしたちを三一の神の傑作とならせ、彼であるすべての知恵ある展覽、すなわち、彼の無限の知恵と神聖な設計を表現する詩とします——I コリント1:30. エペソ2:10. 3:9-11。

F. 永遠において、わたしたちは新エルサレム（この都の土台には虹の外観があります——啓21:19-20）として、虹となって神の信実を証しし、彼の新契約を成就して、わたしたちを、義、聖、栄光としての彼であるのと全く同じにします——10-11節。

Ⅲ. ローマ人への手紙は、あらゆる召会に神の義（神の手續き）の基礎、神の聖（神の性質）の過程、神の栄光（神の表現）の目標があって、わたしたちを神の心（神の愛）の中にもたらし、地方召会を通してキリストのからだの実際を持たなければならないことを啓示しています——1:17. 8:10. 6:19, 22. 8:18, 21. 9:23. 11:36—12:5. 16:27:

A. キリストの死は神の義のためであり、キリストの復活は神の聖別のためであり、キリストの昇天は神の栄光のためです。キリストが戻って来るとき、彼の聖徒たちの栄光化は究極的に完成します。

B. キリストはわたしたちの身代わりとして、わたしたちのために十字架上で死んで、神の義なる要求を満たし、わたしたちを義として、彼がご自身を命の霊の法則としてわたしたちの中へと分与することができるようにしました——ローマ6:23. エゼキエル18:4, 20. I ペテロ2:24. 3:18. ローマ5:18. 啓22:14:

1. 正常なクリスチャンは、キリストと共に死に、日ごとにこの事実にしたがって行動する人です。もしある信者が天然の方法で生きるなら不義ですが、十字架の死を経験するなら、あらゆる事で、あらゆる人に対して、あらゆる面で義です——ガラテヤ2:20. II コリント3:9。

2. キリストの死と、わたしたちがキリストと共に死ぬことだけが、神の義の要求を満たし、神に立場を与えて、彼が義にしたがって、ご自身を神聖な命として、わ

わたしたちの全存在の中へと分与し、わたしたちが命によって飲み尽くされて、命の都となるようにします——ローマ8:10, 6, 11. II コリント5:4。

C. 聖化は聖別の主観的な活動です。それは活動における聖別です：

1. 聖化は、「その霊、聖なる方」としての復活したキリスト、すなわち、わたしたちの霊の中の聖別する霊であり、神の聖なる性質としてのご自身をわたしたちの存在の中へと造り込んで、わたしたちを聖なる都とします——I テサロニケ5:23. ローマ6:19, 22. 15:16. 8:4。
2. 神聖な聖別は、神聖なエコノミーを完成することでの保持する路線、すなわち神の有機的な救いの過程であり、人を神化する神の行動として、人を神格においてではなく、命と性質において神とします——ヘブル2:10-11. エペソ1:4-5. 啓21:2。

D. 活動する命の霊の法則として三一の神を分与する究極の目標は、神がキリストのからだを通して表現されて、召会の中で栄光を得ることです——エペソ3:16-21. ローマ8:19, 21, 28-30. 16:27：

1. ヨハネ第17章の一は、神聖な三一の拡大した一としての召会です。自己を徹底的に否むことによって一が完全に実現するとき、御子は召会の中で御父の栄光を現します——1, 21-23節。
2. これは、正当な召会生活がある所ではどこでも、御父の栄光が現されることを示します——I コリント10:31. II コリント4:5。

E. 三一の神を命の霊の法則として、わたしたちの中へと分与することは、彼の義にしたがっており、彼の聖別を通してであり、彼の栄光へと至ります。これは、わたしたちが新エルサレムとなり、キリストをわたしたちの義の堅固な土台、わたしたちの聖別の純粋な構成要素、わたしたちの栄光の輝く表現として持つためです——啓21:2, 9-11。